

岐阜県におけるタカネキマダラセセリと新潟県にお  
けるタカネヒカゲの発見

福 田 晴 男  
東京都世田谷区上北沢 4-15-5

Discovery of *Carterocephalus palaemon satakei* in Gifu Prefecture  
and of *Oeneis asamana yazawae* in Niigata Prefecture

HARUO FUKUDA

1. *Carterocephalus palaemon satakei* MATSUMURA について

現在のところ、タカネキマダラセセリは北アルプス南部と、南アルプス仙丈岳に生息地が知られており、その生息地はすべて長野県下にある。筆者は、1968年7月15日の調査で、新たに岐阜県下より本種を採集したので、岐阜県新記録種として発表する。当日、午後3時頃から絶好の採集日和となり、運より陽当りのよい斜面で本種の発生を見た。標高にして1800mの地点で、食草のイワノガリアス群落があちこちに見られた。30分の採集で2頭目撃し、そのうち採集した1頭は、当日羽化したと思われる完全品♂であった。この辺りは、かなり谷が深く、筆者の推定によると他の生息地よりも発生が遅いように思われる。

1♂, 15. VII. 1968, 岐阜県吉城郡上宝村檜ヶ岳右俣谷滝谷出合(1800m), 筆者採集および保存。写真1は岐阜県初記録の♂である。

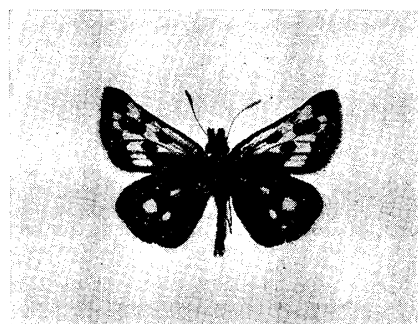


写真1. タカネキマダラセセリ,  
♂ (岐阜県産)

2. *Oeneis asamana yazawae* MATSUMURA について

タカネヒカゲの生息地は、長野、山梨、岐阜、富山の4県にまたがっており、南アルプスでは八ヶ岳が唯一の生息地として知られ、北アルプスでは広範囲に亘って生息地が知られている。ところが不思議にも新潟県下よりの記録がない。筆者は、1968年8月5～6日の調査で、新潟県下より本種を多数採集したので、ここに新潟県新記録種として発表する。8月5日の夕方、白馬岳から白馬大池へ向う途中、小蓮華山稜線2500mの地点で本種を2回目撃した。稜線の右側(長野県側)は崖で左側(新潟県側)は、本種の恰好の発生地であった。筆者が見出した発生地は、富山、長野、新潟の三国境より小蓮華山(2769m)へ向う途中の新潟県側石礫斜面である。標高2,600mの稜線付近の石礫地には、食草のイワスゲが点々と生え、所々にハイマツも生育し、又、コマクサの群落も見られ、100m下に雪渓を望むゆるやかな斜面である(写真2参照)。筆者の推定だと、新潟側斜面全域に亘ってかなり本種の発生地があるものと思われる。なおタカネヒカゲの亜種名は、白馬亜種(*yazawae* MATSUMURA)を用いた。

12♂♂ 15♀♀, 6. VIII. 1968, 新潟県糸魚川市小蓮華山(2600m), 筆者採集および保存。

写真2は、新潟県初記録のタカネヒカゲで、左が♀、右が♂で、個

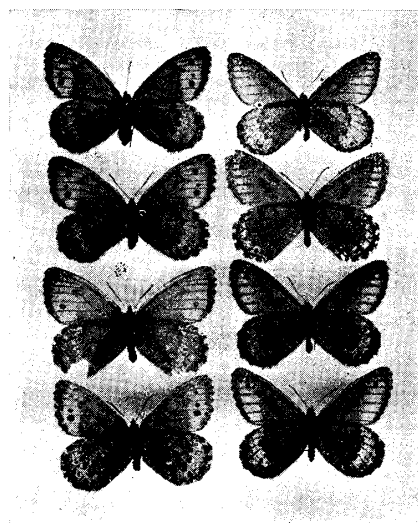


写真2. タカネヒカゲ, ♀♂ (新潟県産)



写真3. 新潟県糸魚川市小蓮華山 (2600 mm) の  
タカネヒカゲの生息地

体変異が多い。

終りに本稿をまとめるに際し、色々と御教示下さった九州大学教養部の白水隆博士に感謝の意を表する。

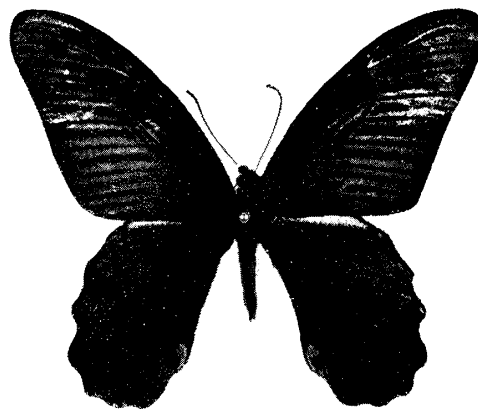
参考文献 白水 隆 (1965): 日本の蝶, 北隆館

### クロアゲハ無尾型を鳥取県で採集

浜 田 啓 吾

大阪市東淀川区三国本町3丁目 428

先日標本整理中に鳥取県下で採集されたクロアゲハ *Papilio protenor demetrius* CRAMER の無尾型 1 ♀ を見出しましたので報告します。この標本は1968年8月7日に鳥取県八頭郡用瀬町金屋で鳥取市の本田信雄氏によって採集されたものです。鳥取県下でクロアゲハの無尾型が採集されたのは恐らく初めてであろうと思います。



鳥取県産クロアゲハ無尾型 ♀

(編集後記) 本誌もやっと正常発行にもどり編集者としても一安心です。次号20(3/4) はすでに組版が進行中でこれは7月に発行の予定です。この20(3/4)をもって本年度の会報は完了となります。昭和45年度分の21(1/2) は明年1月発行の予定ですが、この分の原稿は9月末に印刷所に廻しますので、早く投稿されてもそれまでは印刷になりませんので御了承下さい。

投稿の際は最新号を参照して、それに形式を合わせるようにして下さい。短篇以外は著者校正を行っておりますが、その際に同頁内の行数が変更になるような大巾な書きこみや削除は特別の場合のほかはしないようにお願いします。(白水 隆)

本誌第19巻第3・4号の訂正 (117頁20行目)

誤 KAEMPFEL 正 KAEMPFER

### 日本鱗翅学会会報 “蝶と蛾”

第20巻 第1・2号

日本鱗翅学会発行

本部 大阪市東区今橋3丁目18 緒方病院内 (〒541)

振替口座 京都15914番 電話大阪(231)3255代

編集者 白水 隆 (福岡市六本松4丁目  
九大教養部生物学教室) (〒810)

印刷所 秀巧社印刷株式会社  
1969年3月26日発行

### TYŌ TO GA

(Trans. Lep. Soc. Jap.)

Vol. 20, No. 1 & 2

published by

The Lepidopterological Society of Japan  
c/o OGATA HOSPITAL, Imabashi 3-18,  
Higashiku, Osaka, Japan.

26 March 1969